

第6回沖縄県青壮年・女性漁業者交換大会開催

瀬 底 正 武

沖縄県における漁村青壮年・女性漁業者及び研究グループ等の自主的な活動実績を発表し、相互の知識の交流、活動意欲の向上及び成果の普及を図ることにより、今後の漁村社会の発展に寄与することを目的に、第6回沖縄県青壮年・女性漁業者交換大会が2001年1月12日に那覇市内の沖縄県水産会館で開催された。

本大会では、4人の代表者が日頃の活動成果を発表した。審査の結果「パヤオ・ソデイカ操業について」と題して発表した金武漁業協同組合、パヤオ・ソデイカ部会の宮城守氏が最優秀

賞に輝いた。

宮城さんは東京で建築関係の専門学校を卒業後、千葉県水道局に3年勤務し帰郷後釣具店を経営しておりましたが、1985年より漁師となった。大会では、1基350万円もするパヤオの流失防止対策の一環として、パヤオの構造改善（詳細は大会資料参照）の成果が評価された。

宮城さんは、来る3月6日から東京で開催される全国大会へ沖縄県代表として派遣される。第6回沖縄県青壮年・女性漁業者交換大会の発表課題、発表者は次の通りです。

発表者	発表課題	所属グループ
金城和司	故郷で海人として生きる	与那国町漁協青年部
長間浩	伊良部町漁業協同組合モズク生産部会設立	伊良部町漁業協同組合モズク生産部会
宮城守	パヤオ・ソデイカ操業について	金武漁業協同組合パヤオ・ソデイカ部会
新立弘子	与那城町漁協婦人部の歩み	与那城町漁協婦人部

また、当日は沖縄県立水産高等学校教諭加藤司氏が生徒32名を引き連れ同大会に参加された。海人養成を目指す沿岸科の思案もあり、来大会から同校の生徒の参加を積極的に進めるとともに、生徒の学習体験発表も視野に入れた大会に

したい。

大会終了後、懇親会含め各漁協及び系統団体、市町村水産担当職員等180名が参加し盛会であった。

地域漁業の中核的漁業者として

— 2人を漁業士に認定 —

漁業士の平成12年度認定授与式が「第6回青壮年・女性漁業者交換大会」の席上で行われた。今年度は糸満漁協から安谷屋秀喜氏、勝連漁協から上原哲文氏がそれぞれ青年漁業士として認定された。

漁業士制度は、地域漁業振興の中核的漁業者を育成するため昭和61年度から全国いっせい

にスタートした。本県も昭和61年度には6名の漁業士が認定され、平成12年度の2名を含め44名の漁業士が誕生した。

漁業士には、指導漁業士と青年漁業士がある。指導漁業士は、実務経験10年以上で漁業技術、経営管理にすぐれ、自立経営漁家として、先進的に漁業経営を行っている満40歳以上60歳未

満の漁業者となっている。（指導漁業士については、漁協長と市町村長の連名で推薦し審査のうえ知事が認定する。）

青年漁業士は、専従的な就業者のうち人格、識見、漁業経営等の内容が優れた40歳未満の

漁業者となっている。（青年漁業士は、連名推薦と同時に認定条件として、県の実施する研修講座を受講し審査のうえ知事が認定する。）

尚、漁業士に関する質問、ご意見等ありましたら水産業改良普及所までご一報願います。

平成12年度認定漁業士名

漁業士区分	氏 名	年 齢	漁 協 名	漁 業 種 類
青 年 漁 業 士	安谷屋 秀 喜	3 5 歳	糸 満 漁 協	ソデイカ漁業 パヤオ漁業
青 年 漁 業 士	上 原 哲 文	3 4 歳	勝 連 漁 協	モズク養殖 トビイカ漁業



与那城町漁協婦人部：新立弘子氏



与那国町漁協青年部：金城和司氏



伊良部町漁協モズク生産部会：長間浩氏



金武漁協パヤオ・ソデイカ部会：宮城守氏



加藤先生からご挨拶等生徒の紹介（中央）



美声を披露してくれた系統団体の皆さん